



九州北部豪雨 **TEC-FORCE**
Technical Emergency Control FORCE

松本砂防事務所の活動

平成29年7月 9日

- ・松本砂防事務所より出発

平成29年7月10日

- ・九州技術事務所にて打合せ

平成29年7月11日

- ・福岡県朝倉市の土砂災害危険箇所等緊急点検

平成29年7月12日

- ・福岡県朝倉市の土砂災害危険箇所等緊急点検

平成29年7月13日

- ・緊急点検内容とりまとめ

平成29年7月14日

- ・松本砂防事務所へ帰還



松本砂防事務所の活動

～ 土砂災害危険箇所の緊急点検を実施 ～

目的

福岡県からの要請を受けて、「平成29年九州北部豪雨」後の更なる土砂災害の防止、今後の警戒避難及び応急的な対応に資することを目的に、TEC-FORCE(砂防班)による土砂災害危険箇所の緊急点検を実施しました。

実施期間

平成29年7月9日(日)～31日(月)
 (このうち、松本砂防班は7月9日(日)～14日(木)に実施)

点検内容

点検箇所は、朝倉県土整備事務所管内で甚大な被害が発生した朝倉市の一部及び東峰村の554箇所の土砂災害危険箇所、及び点検行程中に発見した被災箇所29箇所でした。松本砂防班は、土石流危険渓流5箇所、急傾斜地3箇所の計8箇所を対象に、地上から点検を実施しました。

点検結果

応急的な対応が必要な箇所が224箇所、当面巡視等の警戒強化が必要な箇所が90箇所確認されました。

点検結果は、警戒避難に役立てることを目的として、福岡県のホームページで公表されています。

URL: <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kinkyutenkenh29.html>

土砂災害危険箇所の緊急点検結果について

平成28年7月九州北部豪雨により、歴史的な土砂災害が発生しました。なかでも、朝倉市の一部及び東峰村においては甚大な被害が発生しており、今後の警戒避難及び応急的な対応に資することを目的に、管内に所在する土砂災害危険箇所を対象に緊急点検を実施し、今回の結果を緊急点検の結果として公表いたします。

1. 点検期間
 平成29年7月9日(日)から7月31日(月)

2. 点検体制
 福岡県、国土交通省北九州地方整備局及び九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)、国土技術政策総合研究所の土砂災害専門班

3. 点検内容
 (1) 対象箇所
 福岡県内(一部)の調査対象箇所、朝倉市、東峰村の一部及び東峰村(554箇所)
 (2) 点検対象箇所
 (a) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (b) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (c) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (d) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (e) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (f) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (g) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (h) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (i) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (j) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (k) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (l) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (m) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (n) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (o) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (p) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (q) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (r) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (s) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (t) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (u) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (v) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (w) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (x) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (y) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所
 (z) 国土交通省北九州地方整備局、国土交通省九州地方整備局の各型緊急災害対策本部(TEC-FORCE)による調査対象箇所

4. 点検結果
 危険箇所554箇所のうち調査対象箇所は、土石流危険渓流5箇所、急傾斜地3箇所、土砂災害危険箇所554箇所、被災箇所29箇所、計589箇所です。そのうち、応急的な対応が必要な箇所が224箇所、当面巡視等の警戒強化が必要な箇所が90箇所、その他が275箇所です。

※No.8: 松本砂防班調査地周辺

点検実施状況



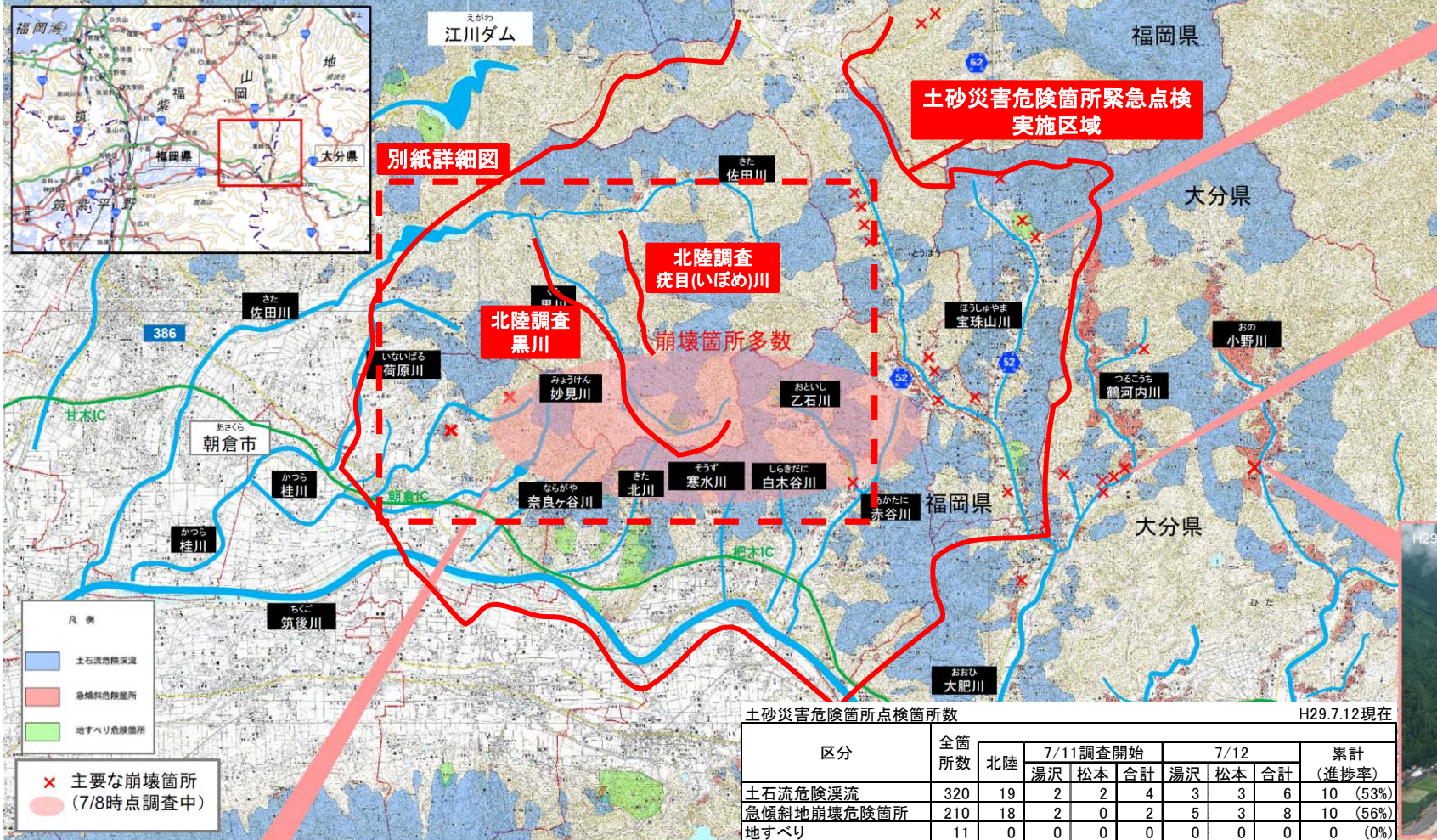
小型測量器による計測



流木状況

平成29年7月5日 九州北部地方豪雨（土砂災害危険箇所緊急点検）

福岡県からの要請により、7月12日から2班8名体制（湯沢砂防・松本砂防）で20箇所を点検



土砂災害危険箇所点検箇所数 H29.7.12現在

区分	全箇所数	7/11調査開始			7/12			累計 (進捗率)	
		湯沢	松本	合計	湯沢	松本	合計		
土石流危険渓流	320	19	2	2	4	3	3	6	10 (53%)
急傾斜地崩壊危険箇所	210	18	2	0	2	5	3	8	10 (56%)
地すべり	11	0	0	0	0	0	0	0	0 (0%)
合計	541	37	4	2	6	8	6	14	20 (54%)





安倍総理視察



現地打合せ状況



松本班調査状況



松本班調査状況



松本班調査状況



湯沢班調査状況

北陸TEC点検箇所
 - 土石流危険渓流
 - 急傾斜地
 7/XX X班
 1班: 湯沢、2班: 松本

凡例

- 土石流危険渓流
- 急傾斜危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 市町村界